



安曇野ブランドデザイン会議の進ちょく状況などをシリーズでお伝えします

空に響く 早春賦の歌声

4/29 早春賦まつり

今回で26回目を数える「早春賦まつり」が4月29日、穂高等々力の穂高川右岸にある歌碑前で行われました。ここ15年ほど雨に降られていないというお天、この日も雲ひとつない晴天に恵まれ、市内外から集まった約400人が、地元の合唱団やグループによる澄んだ歌声を楽しみました。早春賦の作曲者・中田章の子である民夫さんはあいさつの中で、「この祭りをずっと守っていただいたことに、遺族としてはただ感謝するばかりです。大正4年に生まれたこの歌ももうすぐ100年を迎えます。次の世代へ歌いつないでほしい」と述べました。祭りの最後には、アルパ奏者の上松美香さんとアルパクラブの皆さんが奏でる音色にあわせて、参加者全員で早春賦を合唱しました。



さいごのお話しの巻

4/29 穂高図書館閉館イベント

今年9月開館予定の中央図書館へ移館準備のため、穂高図書館が4月29日で閉館となりました。この日は、これまで利用していただいた皆さんに感謝を込め、館を支えてきたボランティアとともに「さよならイベント～これがさいごのお話しの巻～」を開催しました。百瀬佳子館長は、「地域の宝であるこの図書館とその歴史を、新図書館へ受け継ぎたい」とあいさつ。ミニコンサート、おはなし会やパネルシアター、洗濯バサミを使ったコミカルな人形劇など、工夫を凝らした催しが行われました。そして最後には、参加者全員で「ふるさと」を合唱。29年の歴史を刻んできた穂高図書館の物語は、約60人の参加者に見守られ、静かに幕を下ろしました。

シーズン到来！春山登山

5/3 常念岳一ノ沢登山口

ゴールデンウィーク最初の日曜日となる5月3日、北アルプス常念岳へ向かう一ノ沢登山口には、早朝からシーズン到来を待ちわびた登山者が大勢訪れました。登山口に設置されている登山指導所では、警察から委託を受けた山岳指導員が常駐し、登山者カードの受け付けや遭難事故防止に関する指導、案内などを行っています。指導員の藤原晟さん(穂高牧)は「春山登山は短い周期で天候が変わりやすく、吹雪になりやすいので注意してください」と登山者に呼びかけていました。また、親子で登山する大橋三樹夫さん(愛知県)は「大学生になる息子とは、年に2回ほど登山しています。常念登山を楽しみにしてきました」と話してくれました。昨年、常念山系を訪れた登山者は約4万6,000人で、前年と比較して約4,300人増加しています。



既存商店街 活性化プロジェクト

既存商店街活性化プロジェクト穂高チームは、穂高神社最大の祭典「大遷宮祭」や、街に訪れた人達を美しい花でもてなそうと4月11日(土)、ピオラの植栽を行いました。参加者が心を込めて植栽した約2,000株の色とりどりのピオラは、通行者の目を楽しませていきます。



安曇野モデル(住宅) プロジェクト 安曇野豆文庫プロジェクト

「安曇野らしい家コンテスト」「安曇野豆文庫民話原画展」開催 安曇野モデル(住宅)プロジェクトでは「安曇野の景観に調和し、すべての人が暮らしやすいエコ住宅」を提案するため、市内の建築士有志の皆さんから協力をいただき、「安曇野モデル住宅のガイドライン」を作成しました。また、これに基づき、それぞれの建築士から8件の住宅設計の提案をいただきました。提案については、市民の皆さん

147号バイパス 景観形成プロジェクト

プロジェクトでは、梓川サーブエリアに設置されるスマートインターにより、安曇野の新しい玄関口となる147号バイパスの沿線をコスモスやシバザクラで彩ります。コスモスは幅4.5m、延長約470mの場所に幅2.5mずつ、2



安曇野ブランド推進室 (TEL) 77-3111 (FAX) 77-8080



からより多くの評価をいただくため、5月14日から6月10日まで、平安堂安曇野店様の一角に提案の模型やパネルを展示し、「安曇野らしい家コンテスト」を行っています。ぜひご覧いただき、安曇野にふさわしいと思う住宅設計に投票をお願いします。また、安曇野豆文庫プロジェクトでは、本年4月に制作し販売している安曇野豆文庫「民話シリーズ」(4作)の原画展を「家コンテスト」と併せて開催しています。こちらもぜひご覧ください。

回に分けて種まきをします。プロジェクトでは種まきや草取りなどをしていただけのサポーターの皆さんを募集します。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

- 種まきの日時(予定) 第1回 5月23日(土) 第2回 6月27日(土) いずれも午前8時30分

●申し込み 参加していただける人は、プロジェクト事務局(安曇野ブランド推進室)へお申し込みください。